

# はぎのだい

学校だより臨時号



平成27年10月13日(火)

津幡町立萩野台小学校 校長 橋田 宏幸

## 子どもたちの成長を助ける 学校運営と学力向上の取り組み！

～前期学校評価アンケートと学力調査の結果について～

「子どもの成長が見える、変化が実感できる学校づくり」を教育方針に掲げ、【学ぶ・鍛える・競う】を合い言葉に、子どもたちの可能性への積極的な指導を行っています。そして、学校・保護者・地域の共通な願い「よりよい成長」の実現に向けて、学力・心力・体力向上に取り組んでいます。

学校評価は、子どもたちがよりよい教育を受けることができるように教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すためのものです。その取り組みを効果的にするために学校評価アンケートを行っています。

7月に行った前期学校評価アンケート（教職員・児童・保護者）結果を分析し、対応策を考え、8月末の学校評議員会で学校運営についてご指導ご助言を頂きました。前期学校評価結果の概要と今後の取り組みをお知らせします。

また、4月に実施された4～6年生の町・県・全国の学力調査結果とその分析・対応策をお知らせします。学校だより10月号には、6年生対象で行われた児童アンケートの結果を掲載しました。学力は、学校の授業や指導はもちろんですが、家庭の生活も大きく影響を与えると考えています。

学校評価も学力向上も、次代をよりよく生きる力を身につけるための重要な取り組みです。学校が現状の説明責任を果たし、家庭や地域が情報を共有化し、教育への関心を高め、連携と協働が進めていければ幸いです。子どもたちの成長を願い、教職員一同、全力を挙げて取り組みますので、今後ご理解ご協力をよろしくお願いします。

### 平成27年度 学校評価 中間評価結果（判定がAの8項目は除きました。）

1. 学力向上と教育指導力向上		②はA判定	
具体的取組	達成度	判定	9月からの方針・方策
①基本的な学習ルールの定着	職員 82% 児童 77% 保護者 85%	B	学習マナーの再確認を行い、一人一人が意欲的に学習に取り組める姿勢を身につけるようにする。さらに児童を引きつけられる活動や1時間の流れを工夫した学習に努める。
③表現する力の育成（書くこと）	職員 86% 児童 89%	B	「ちょこっと作文」を継続していく中で、言葉のカードを活用したり、良い作品を紹介したりして語彙を増やし表現力の向上に努める。
④表現する力の育成（話すこと）	職員 100% 児童 82% 保護者 73%	B	理由をつけて自分の意見を話すことができるようになってきた。さらに、良い聴き手を育てることで、話す意欲を高め、話し方を指導する。

⑤家庭学習の充実と習慣化（学年×10分の定着）	職員 86% 児童 84% 保護者 69%	B	家庭学習の習慣が身につけていない児童に、粘り強い声かけや励みになる評価、連絡帳のチェックなどをしっかり取り組む。家庭学習強化週間を保護者の協力を得ながら取り組んでいく。
⑥読書目標到達促進の取り組み	職員 75% 児童 94%	B	図書の貸し出し目標は95%の児童が達成した。各クラスでの取り組みを工夫し、読書が苦手な児童への働きかけなども行って100%達成をめざす。
⑦授業におけるタイムマネジメントの取り組み	職員 86%	B	職員はタイムマネジメントを意識して授業を取り組めるようになってきた。さらに、授業のねらいを明確にし、ふりかえりまでしっかりと毎時間進めるようにする。
⑧校内研修の充実	職員 87%	B	研究授業を中心に、研究を深める。研究授業から明らかになったことを「アタックポイント」として日々の授業の中で共通実践する。
⑨学力テスト結果を生かした学力向上の取り組み	職員 86%	B	テストの分析から、弱点をはっきりさせ、日々の授業の中でしっかり取り組む。また、朝学習やパワーアップタイムの時間で弱点補強を行う。
⑩情報機器を活用した授業の実践	職員 75%	C	研修会で情報機器の活用方法を学び、「活用目標」を定め、達成できるよう意識向上を図っていく。
<b>2、豊かな心と社会性の育成 ③、④、⑤はA判定</b>			
①その場に応じた正しい言葉づかい、思いやる言葉づかいの育成	職員 62% 児童 79% 保護者 81%	C	よい言葉や思いやりのある言葉をシャワーのようによく繰り返し指導する。正しい言葉づかいをすることの良さを感じられるようにする。学校だよりなどを通して家庭での協力をお願いする。
②いじめのない温かい学級づくり	職員 79% 児童 84% 保護者 94%	B	温かい人間関係をつくるために、人間関係づくりの色々な指導を行う。一人一人が人との関わりを大切にできるような学級づくりを目指していく。
⑥重点項目を意識した統合的な道徳の実践	職員 86%	B	道徳便りの発行や掲示等で学期ごとの重点項目を共通理解し、道徳の授業に取り組む。
<b>3、健やかな体と危機管理の育成 ②、③はA判定</b>			
①早寝・早起き・朝ごはんの定着	職員 100% 児童 89% 保護者 85%	B	調査や取り組みによって「早寝・早起き・朝食」について啓発していく。さらに意識を高めるために規則正しい生活の大切さについて全体指導を行う。またPTAの活動を通して、家庭への協力を呼びかけていく。
<b>4、開かれた学校づくりの推進と連携 ①、②、③はA判定</b>			

## ＜学校評議員会（8月27日）での学校評価に対するご意見＞

### 学力向上について

- ・宿題は、教科の内容だけでなく、自分で関心を持ったことに進んでやることこそ素晴らしいのではないかな。
- ・昔は調べたいことがあると図書館へ行くなどしたが、今はパソコンの画面上の体験などが多い。なるべく直接体験することを大切にしてほしい。

### 豊かな心と社会性の育成

- ・「思いやりのある言葉づかい」「いじめのない学級」「先生に何でも相談できる」という3つの項目をつなげてとらえ取り組んでいくことが大切ではないか。






学校評議員の皆様からは、学校の取り組みに対して肯定的なご意見を多くいただき更に、今後の取り組みへの具体的な示唆もいただきました。

## 平成 27 年度の学力調査の結果を受けて







今年度も4月に、全国の6年生を対象にした全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科）と4年生と6年生を対象にした石川県基礎学力調査（4年生：国語・算数、6年生：社会）を行いました。また、町独自に、5年生を対象とした学力調査（国語・算数・理科）も行いました。

本校児童の調査結果は、以下のとおりです。

調査結果を県の平均と比べたものを  $\Rightarrow$  で表しました。




 5%以上上回る
  2~5%上回る
  平均と同程度
  2~5%下回る
  5%以上下回る

### 【6年生】

教科	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理 科	社 会
萩野台小の平均						
県の平均	74.4	73.5	80.3	50.4	66.7	71.9

6年生のA問題は基礎的な内容の問題、B問題は思考力や活用する力をみる内容の問題です。

### 【5年生】 町独自の調査のため全国の平均との比較です。

教科	国語	算数	理科
萩野台小の平均			
全国の平均	70.9	69.8	70.0

### 【4年生】

教科	国語	算数
萩野台小の平均		
県の平均	67.7	72.2

今年度は、県や町の平均を上回る教科が、多くありました。特に、算数は、全学年とも良い結果になりました。

## ☆ 学力調査の分析

### 6年生

教科	分析結果
国語 A	◎漢字の読み書きの力は、概ね良好である。 △文章を読んで、相互関係や要点を読み取る力は、十分ではない。
国語 B	◎目的に応じ、中心となる語や文を捉える力は概ね良好である。 △文章と図を関係づけて、自分の考えを書く力は、十分ではない。

算数A	◎基本的な計算の力は、概ね良好である。 △図形の性質の理解が、十分ではない。
算数B	◎平行四辺形の性質の理解は、概ね良好である。 △問題の図形の性質や理由を記述する力は、十分ではない。
理科	◎調べた結果を視点もって考察する力が、育っている。 △振り子の運動の規則性を活用する力は、十分とはいえない。
社会	◎大陸や海洋と国土の位置関係は、しっかり理解している。 △資料を基に考察したり説明する力は、弱い。

## 5年生

教科	分析結果
国語	◎漢字の読む力は、良好である。 △文章全体の要旨や段落を要約する力は、十分とはいえない。
算数	◎単位を換算する力や基本的な計算の力は、良好である。 △図形の特徴を活用する力は、弱い。
理科	◎月の動き方や温度による水の変化の理解は、概ね良好である。 △実験結果と現象を結びつける力が、弱い。

## 4年生

教科	分析結果
国語	◎漢字を書く力は、良好である。 △段落の内容を大きく捉えて読む力は、十分とはいえない。
算数	◎基本的な計算は、概ね良好である。 △きまりを読み取り、式に表したり、言葉で説明する力が、十分とはいえない。

## [今後の取り組み]

### (1) 授業中での取り組み

- 国語 ・ テーマや条件を工夫し、条件に合う文章を書くことに慣れさせる。  
 ・ 場面の様子や人物の関係が、分かるところに線を引かせたり、関係図を書かせたりして内容を正しくつかませる。
- 算数 ・ 基本的な計算や数の仕組みをくり返し取り上げ習熟させる。  
 ・ 基準量や比較量を色で囲み、数量関係を分かりやすくして問題に取り組ませる。
- 社会 ・ 学習のまとめを書いたり、自分の考えを発表したりする時に、学習用語を使わせる。
- 理科 ・ 視点や目的をはっきりさせて観察・実験に取り組ませる。

### (2) 授業以外での取り組み

- ・ 朝学習、パワーアップタイム、家庭学習で漢字・語彙・計算力をつける。
- ・ 自学を奨励し、工夫して取り組んだノートを展示して、紹介する。
- ・ 週一回の放課後の補充学習で、個に応じた指導を行い基礎学力の定着を図る。
- ・ 家庭と連携して家庭学習強化週間を設け、「10分×学年」の学習時間の定着を図る。家庭学習強化週間の結果を保護者に知らせ、協力して家庭学習を進める。